

2014年3月期 第2四半期 決算説明会

2013年11月1日
株式会社電通国際情報サービス

AGENDA

第1部 2014年3月期第2四半期決算概況

取締役 専務執行役員
上原 伸夫

第2部 中期経営計画推進状況

代表取締役社長
釜井 節生

I. 2014年3月第2四半期決算概況

取締役 専務執行役員
上原 伸夫

- 3 -

(1) 2014年3月期 第2四半期 連結業績

(単位:百万円)

	2014年 3月期 第2四半期	2013/5/10発表予想との比較			前期との比較		
		予想値	増減額	増減率	前期実績	増減額	増減率
売上高	35,087	34,900	+187	+0.5%	33,867	+1,220	+3.6%
売上総利益	10,619	—	—	—	10,641	▲22	▲0.2%
売上総利益率	30.3%	—	—	—	31.4%	▲1.1p	—
販管費及び一般管理費	9,370	—	—	—	9,163	+207	+2.3%
営業利益	1,249	920	+329	+35.8%	1,477	▲228	▲15.4%
営業利益率	3.6%	2.6%	+1.0p	—	4.4%	▲0.8p	—
経常利益	1,505	1,040	+465	+44.7%	1,609	▲104	▲6.5%
四半期純利益	931	630	+301	+47.8%	946	▲15	▲1.6%

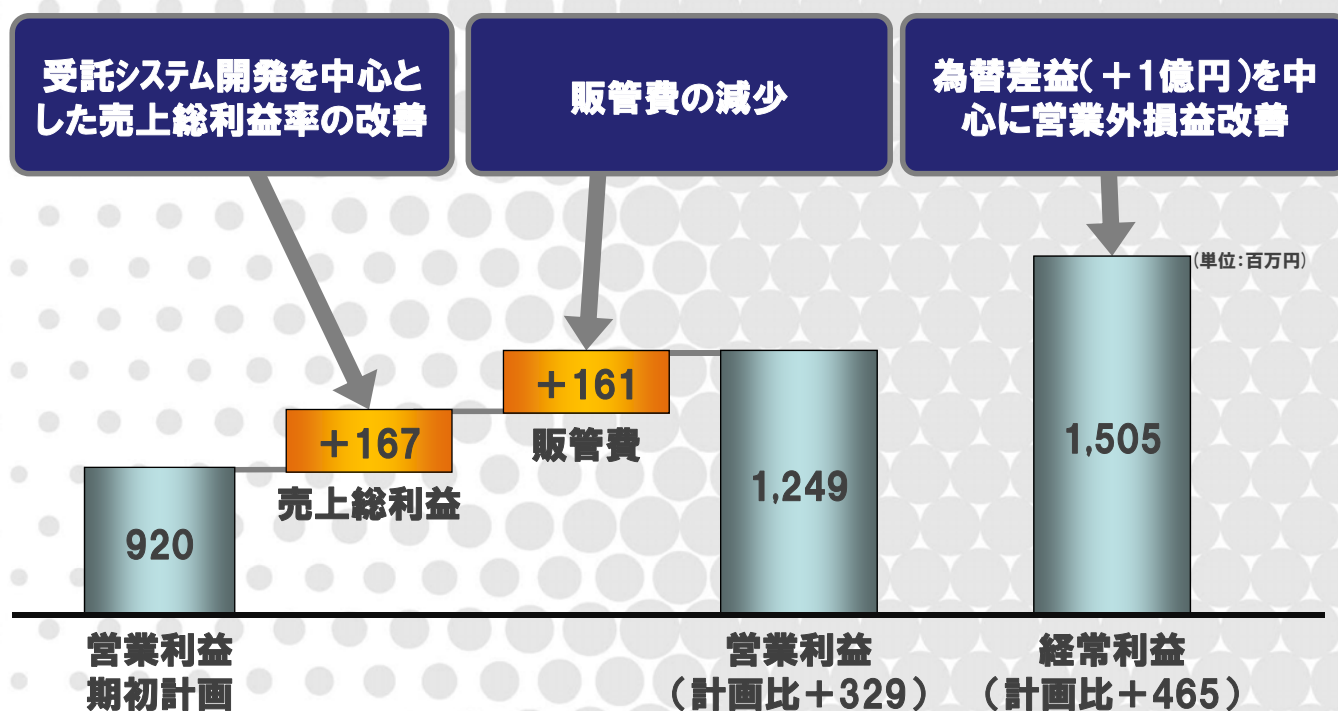
【予想比】 売上高+0.5%、営業利益+35.8%、経常利益+44.7%、純利益+47.8%

【前期比】 売上高+3.6%、営業利益▲15.4%、経常利益▲6.5%、純利益▲1.6%

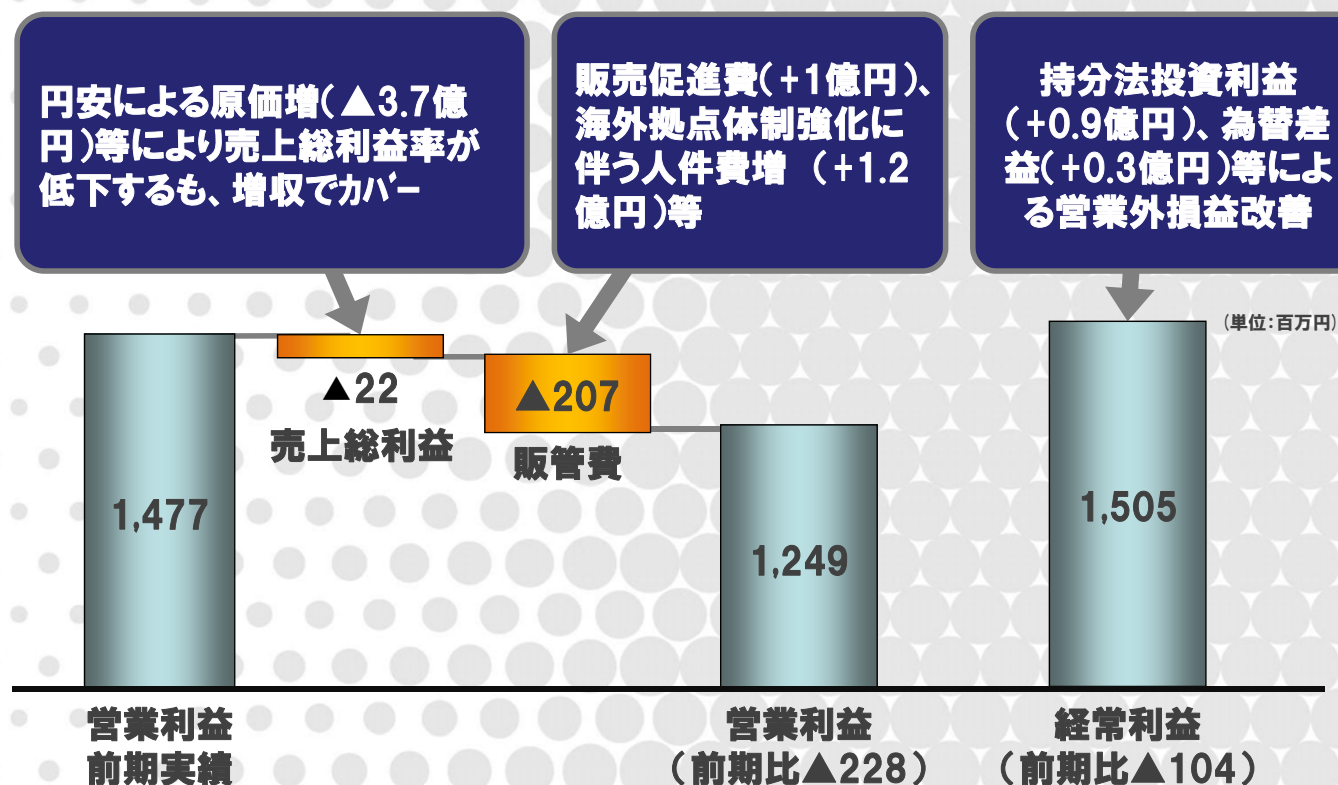
【配当】 中間配当10円、年間合計20円の配当を予定

- 4 -

(2)-1 営業利益・経常利益【計画比】



(2)-2 営業利益・経常利益【前期比】



(3) 事業セグメント別 連結売上高

(単位:百万円)

	2014年 3月期 第2四半期	2013/5/10発表予想との比較			前期との比較		
		予想値	増減額	増減率	前期実績	増減額	増減率
金融ソリューション	10,557	9,919	+638	+6.4%	9,561	+996	+10.4%
エンタープライズソリューション	15,327	16,469	▲1,142	▲6.9%	16,121	▲794	▲4.9%
ビジネス系	5,943	6,647	▲704	▲10.6%	6,537	▲594	▲9.1%
エンジニアリング系	9,383	9,822	▲439	▲4.5%	9,583	▲200	▲2.1%
コミュニケーションIT	9,203	8,511	+692	+8.1%	8,184	+1,019	+12.5%
合計	35,087	34,900	+187	+0.5%	33,867	+1,220	+3.6%

【前期比】

金融

エンタープライズ

コミュニケーションIT

メガバンク/ネット系金融機関向け拡大、「BANK・R」も堅調

ビジネス系:「STRAVIS」拡大も、基幹システム分野伸び悩み

エンジニアリング系:コンサル堅調も、大型案件終了に伴う反動減

電通向け基幹システム構築、電通協業分野の拡大

(4) サービス品目別 連結売上高

(単位:百万円)

	2014年 3月期 第2四半期	2013/5/10発表予想との比較			前期との比較		
		予想値	増減額	増減率	前期実績	増減額	増減率
コンサルティングサービス	1,297	1,337	▲40	▲3.0%	1,278	+19	+1.5%
受託システム開発	12,083	11,299	+784	+6.9%	11,152	+931	+8.3%
ソフトウェア製品	4,750	5,588	▲838	▲15.0%	4,011	+739	+18.4%
ソフトウェア商品	10,837	11,170	▲333	▲3.0%	11,167	▲330	▲3.0%
アウトソーシング・運用保守サービス	3,322	3,030	+292	+9.6%	3,090	+232	+7.5%
情報機器販売・その他	2,795	2,474	+321	+13.0%	3,166	▲371	▲11.7%
合計	35,087	34,900	+187	+0.5%	33,867	+1,220	+3.6%

(5) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2013年 9月30日	2013年 3月31日	増減	主な増減要因(対前連結会計年度末)
流動資産	38,386	38,145	+241	預け金の増加(+2,314)、前渡金の増加(+1,352) 売上債権の減少(▲1,991)、現金及び預金の減少(▲1,382)
固定資産	19,199	20,653	▲1,454	投資有価証券の減少(▲1,425)
資産合計	57,586	58,798	▲1,212	
流動負債	16,938	17,214	▲276	仕入債務の減少(▲1,432)、未払消費税等の減少(▲362)、 未払金の減少(▲245)、前受金の増加(+1,988)
固定負債	3,070	3,679	▲609	繰延税金負債の減少(▲549)
負債合計	20,009	20,894	▲885	
純資産合計	37,576	37,903	▲327	四半期純利益の計上(+931)、剰余金の配当(▲325)、 その他の包括利益累計額の減少(▲927)
負債純資産合計	57,586	58,798	▲1,212	

(6) 連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2013年4月～ 2013年9月	2012年4月～ 2012年9月	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	2,888	2,940	▲52
投資活動による キャッシュ・フロー	▲1,132	▲1,161	+29
財務活動による キャッシュ・フロー	▲900	▲892	▲8
現金及び現金同等物に 係る換算差額	76	▲71	+147
現金及び現金同等物の 増減額(▲は減少)	932	815	+117
現金及び現金同等物の 期首残高	11,459	10,562	+897
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の 増減額	-	410	▲410
現金及び現金同等物の 期末残高	12,392	11,788	+604

<今期のトピック>

■営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益(1,505百万円)
減価償却費(1,687百万円)
売上債権の減少(2,019百万円)
仕入債務の減少(▲1,452百万円)
前渡金の増加(▲1,342百万円)

■投資活動によるキャッシュ・フロー

無形固定資産の取得による支出(▲1,043百万円)

■財務活動によるキャッシュ・フロー

リース債務の返済による支出(▲565百万円)
配当金の支払(▲325百万円)

(7) 受注・受注残

(単位:百万円)

事業セグメント別		受注高		受注残高	
		2014年3月期 第2四半期	前年同期比	2014年3月期 第2四半期	前年同期比
合計		19,438	▲7.7%	8,664	▲10.8%
事業セグメント別	金融ソリューション	8,936	+1.5%	4,069	▲6.4%
	エンタープライズソリューション	4,702	▲7.1%	1,964	▲0.3%
	コミュニケーションIT	5,799	▲19.3%	2,630	▲22.6%
サービス品目別	受託システム開発	12,800	▲15.1%	5,720	▲22.6%
	ソフトウェア製品アドオン開発	2,659	+33.9%	1,661	+40.4%
	ソフトウェア商品アドオン開発	3,977	▲0.4%	1,282	+12.5%

受注・受注残は、当社のサービス品目のうち、受託システム開発、ソフトウェア製品およびソフトウェア商品のアドオン開発のみが対象です。
コンサルティングサービス、ソフトウェア製品・商品のライセンス、ライセンス保守、アウトソーシング・運用保守サービス、情報機器等は含まれておりません。

(8) 2014年3月期 連結業績予想

通期業績予想は2013/5/10発表予想から修正はありません。

(百万円)

2014年3月期 業績予想	通期	前期との比較		
		前期実績	増減額	増減率
売上高	75,500	72,764	+2,736	+3.8%
営業利益	4,460	4,192	+268	+6.4%
営業利益率	5.9%	5.8%	+0.1p	—
経常利益	4,700	4,311	+389	+9.0%
当期純利益	2,870	2,622	+248	+9.5%

(9) 事業セグメント別売上高予想

(百万円)

2014年3月期 売上高予想	通期	前期との比較		
		前期実績	増減額	増減率
金融ソリューション	21,879	20,357	+1,522	+7.5%
エンタープライズソリューション	36,521	33,509	+3,012	+9.0%
ビジネス系	14,938	13,117	+1,821	+13.9%
エンジニアリング系	21,582	20,392	+1,190	+5.8%
コミュニケーションIT	17,098	18,897	▲1,799	▲9.5%
合計	75,500	72,764	+2,736	+3.8%

金融 メガバンク/ネット系金融機関向けSI、地域金融機関向け「BANK・R」拡大
 エンタープライズ ビジネス系: 人事管理、連結会計、グローバル会計分野拡大
 エンジニアリング系: 自動車業界向けに構想設計ソリューション、PLM拡大
 コミュニケーションIT 電通との協業は拡大を狙うも、基幹系システムの構築は下期ピークアウト

(10) サービス品目別売上高予想

(百万円)

2014年3月期 売上高予想	通期	前期との比較		
		前期実績	増減額	増減率
コンサルティング	3,294	3,054	+240	+7.9%
受託システム開発	23,730	24,864	▲1,134	▲4.6%
ソフトウェア製品	12,875	8,986	+3,889	+43.3%
ソフトウェア商品	23,884	22,330	+1,554	+7.0%
アウトソーシング・運用保守	6,355	6,529	▲174	▲2.7%
情報機器販売・その他	5,358	6,998	▲1,640	▲23.4%
合計	75,500	72,764	+2,736	+3.8%

II. 中期経営計画進捗状況

代表取締役社長
釜井 節生

- 15 -

中期経営計画の骨子

「iSiD Open Innovation 2013～価値協創～」

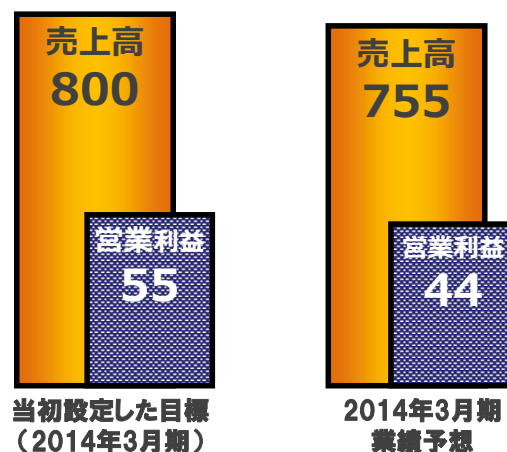
対象期間

2011年4月～2014年3月

基本方針

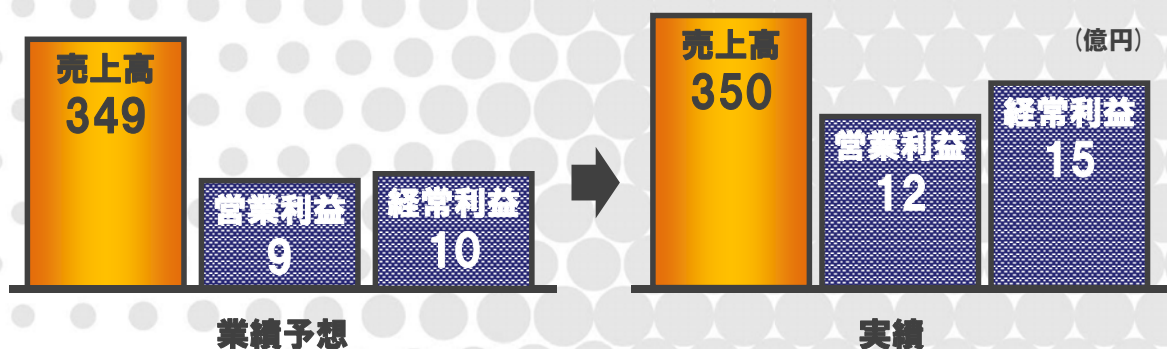
- ①競争優位分野への集中
- ②電通との協業加速
- ③先端技術活用による新規ビジネスの開発
- ④人材力強化
- ⑤安定収益基盤の拡充
- ⑥コスト構造改革

業績目標(億円)



- 16 -

2014年3月期 第2四半期



**売上高・営業利益・経常利益
期初計画達成**

環境認識

- 世界経済の不透明感は継続
- 国内経済は回復感高まる
→ 成長戦略への投資拡大期待

お客様が重点的にIT投資する領域

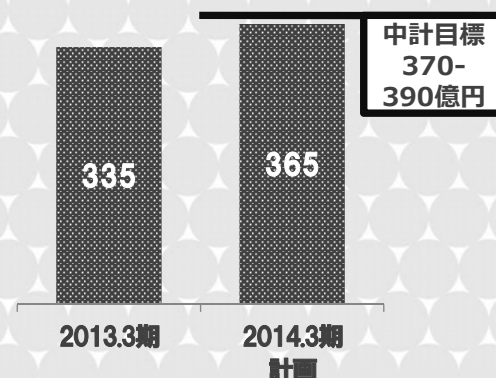
- 競争力向上
- グローバル展開の加速
- マーケティングの高度化

注力領域

製造業のものづくり革新・ グローバル競争力強化支援に集中

- 自動車のグローバル競争力向上支援
 - 自動車のMBD(モデルベース開発)導入本格化。
iQUAVISをコアソリューションとしてリソース集中
～10月には豊田支社開設。
 - 産官学連携による業界横断活動も活発化
～自動車用エンジンの革新的燃焼技術は
政府の成長戦略の10課題に選出
- 製品開発とマーケティングの革新支援
 - 3次元データ利活用/ビジュアライゼーション

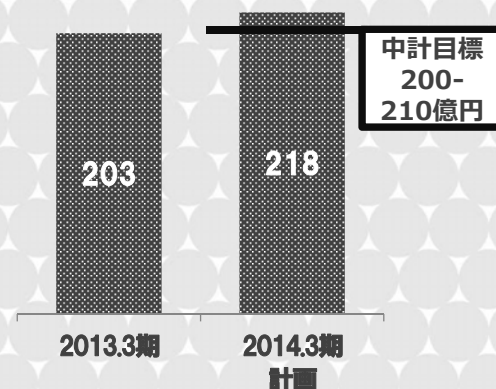
エンタープライズソリューション
売上高(億円)



金融機関が注力する「グローバル」「金融市場」 「地域経済」「個人」の分野に集中

- メガバンクのグローバル戦略支援
 - ロンドン、NY、上海、シンガポール体制拡充
- 新日銀ネット第2段階対応
 - 「流動性管理システム」刷新。現時点で
10社超内定・30億円超の売上を目指す
- 地域金融機関の競争力強化支援
 - 融資・営業プロセス改革支援「BANK・R 4s」、
リテール向け「インターネットバンキング」、「インター
ネット投信」、「コールセンターシステム」等を提供

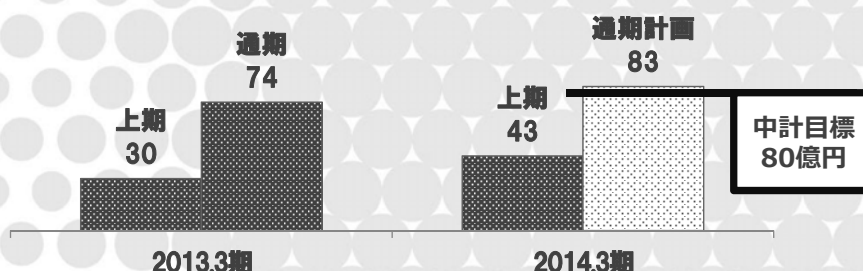
金融ソリューション
売上高(億円)



新設拠点の活動本格化 自社ソリューションの海外展開加速

- 日系企業の中国/ASEAN進出支援
 - 新設拠点(深圳、台北、バンコク、ジャカルタ) 活動本格化
- 中国の金融機関向けにソリューション投入
 - 2018年までにバーセルIII対応が必須となる中国金融機関に対し、BANK・R信用リスク管理モジュールを展開～中国ITベンダーと販売業務提携

グローバル領域の
売上高(億円)

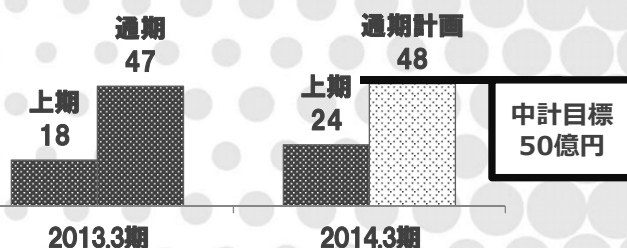


- 21 -

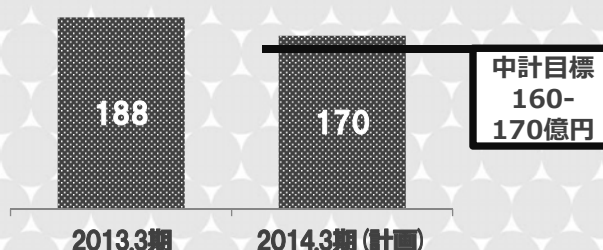
電通との協業 ～3つの推進領域～

- 企業のマーケティング高度化
 - ～マーケティング・プラットフォーム「iPLAss」(販売管理/決済/CRM/ビッグデータ分析等)
- 官公庁/自治体の事業支援
 - ～セールスフォース・クラウド「Force.com」を活用した短納期型クラウドSI
- 街づくり/地域活性化
 - ～ソーシャルシティ・プラットフォーム「+fooop!」

電通協業系の売上高(億円)



コミュニケーションIT売上高(億円)



- 22 -

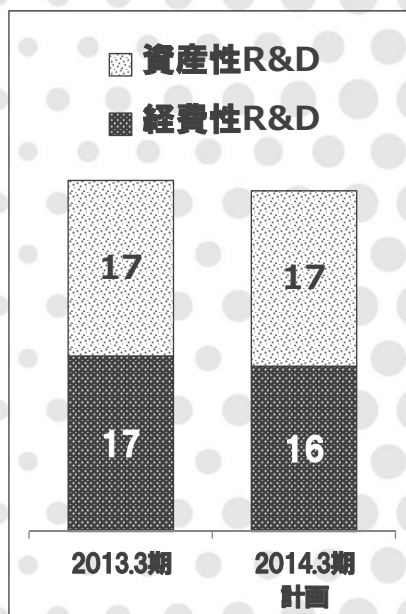
「街」と「人」をつなぐ世界初のコミュニケーション基盤、 ソーシャルシティ・プラットフォーム「+fooop!」サービス開始

- 「街」と「人」の新たなコミュニケーション創出
 - 4月開業の大型複合施設「グランフロント大阪」にて、電通と協働で、日々蓄積するライフログを活用したマーケティング・コミュニケーションの実証実験推進
- 国内外の商業施設/スマートシティへ展開
 - +fooop!をベースに「+fooop! connect」製品化
 - スマートシティ・プロジェクトへの参画決定



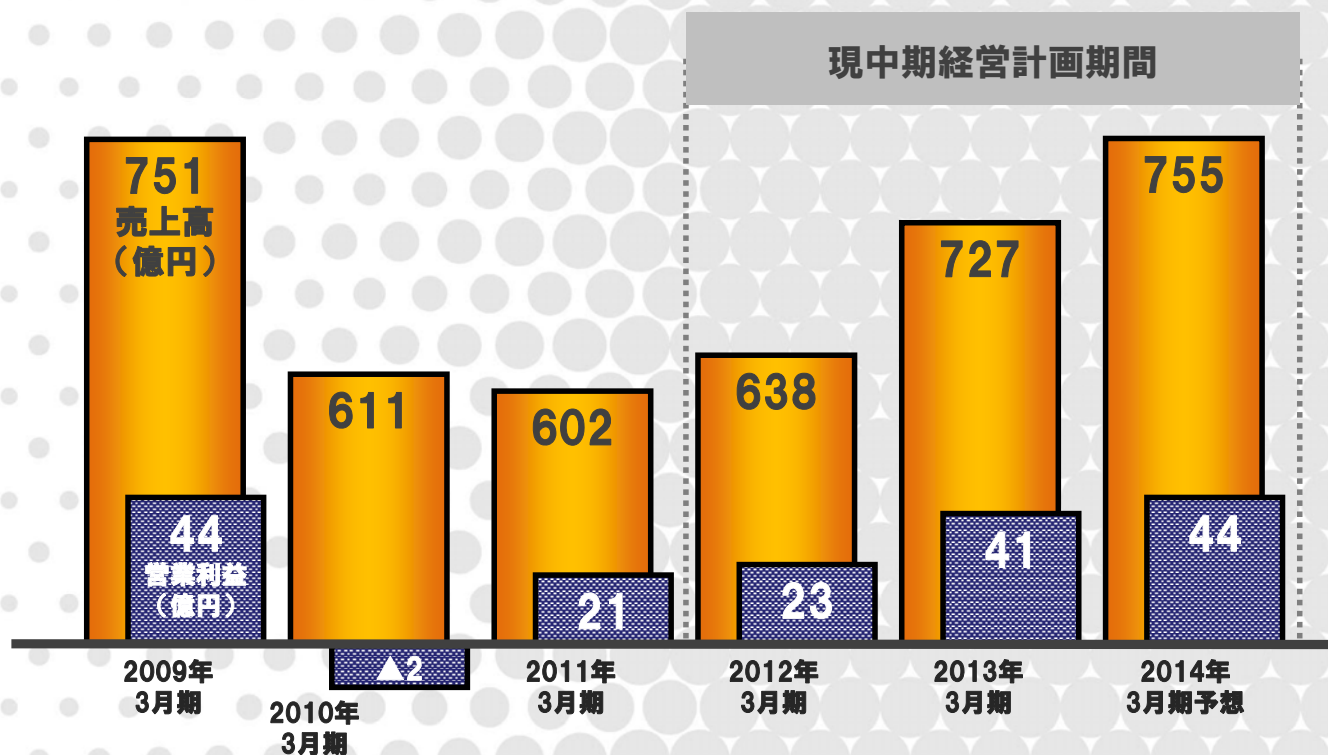
ISiDのさらなる差別化に向けて

積極的な研究開発活動の継続



R&D注力領域

- 自動車のグローバル競争力向上支援
 - 「iQUAVIS」コアにMBDプラットフォーム開発
- HRM (人事管理)強化
 - 「POSITIVE」グローバル・タレントマネジメント機能強化
- 新日銀ネット第2段階対応
 - 「流動性管理システム」刷新
- イノラボによる新規ビジネス開発
 - +fooop!、位置測位技術等



プレスリリース＜2013年5月～2013年10月＞

金融ソリューションセグメント

- 5/7 地域金融機関の融資・営業プロセス改革をトータルで支援する「BANK・R 4s」の提供を開始
- 5/20 iSiDと日本動産鑑定、動産評価情報サービスの提供で業務提携
- 8/7 金融機関等による中小企業支援のためのサービス基盤「VCFプラットフォーム」を開発
- 8/8 信用リスク管理システムを中国に展開
- 9/18 地銀協の次期CRITS®向けデータベース分析ツールの開発を受注

エンタープライズソリューションセグメント

- 5/27 住友ゴムグループの中国統括会社に連結会計システム「STRAVIS」を提供
- 6/4 生命保険会社の新会計システムをOracle EBSで構築
- 6/12 SAP対応BIフレームワークの高速化版「BusinessSPECTREアプライアンス」を提供開始
- 6/13 統合人事パッケージ「POSITIVE」「STAFFBRAIN」の最新バージョンを発表
- 6/17 連結会計システム「STRAVIS」の最新版を発表
- 6/25 SAP®ERPクラウドを短期・固定価格で導入するサービスを開始
- 7/3 統合人事クラウドサービス「POSITIVE on CLOUDiS」をアマゾン ウェブ サービス上で提供開始
- 7/10 SAP®ユーザー向けデータ活用ソリューション「BusinessSPECTRE BIテンプレート」を拡充
- 8/21 iSiDとアミック、生産・原価管理クラウドサービス「AMMIC on CLOUDiS」を提供開始
- 8/30 iSiDとiTiD、製造業向け構想設計支援システム「iQUAVIS」の最新版を発表
- 10/2 グループ経営管理クラウドサービス「Hyperion on CLOUDiS」をアマゾン ウェブ サービス上で提供
- 10/8 クラウドの全面活用を支援する「フルクラウド統合サービス」を開始

コミュニケーションITセグメント

- 5/7 電通とiSiD、新しいCRMプラットフォーム「CubeD™(キューブディー)」を開発
- 8/8 iSiD、ヘッドマウントディスプレイによる初の舞台演出実験にマルチキャスト伝送技術を提供

クラウド・オープンイノベーション研究所・他

- 6/11 テレビの未来をITで創造するプロジェクトチーム「テレビラボ」を立ち上げ
- 7/25 広島県竹原市を舞台にした人気アニメ「たまゆら」公式アプリを開発
- 9/26 東京国立博物館、iSiD、クワジット、東京国立博物館ガイド「トーハクナビ」のiOS Lite版(日本語、英語)を公開
- 10/1 スマイル募金が「2013年度 グッドデザイン賞」を受賞